

柳田雑記(7)

スルタンガリエフをご存知だろうか。

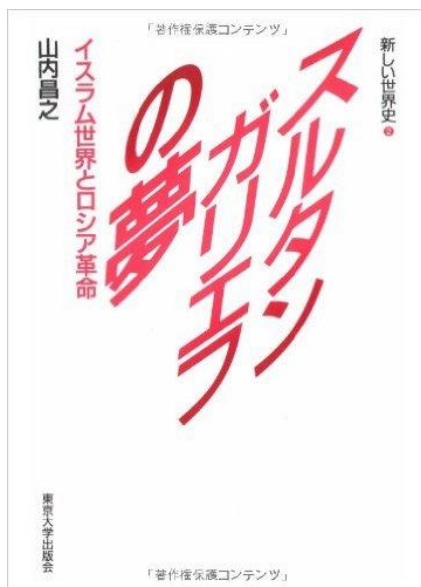
3月5日



彼は、ヴォルガタートル人出身の民族共産主義者として、イスラーム東方世界における社会主義の独特な性格を強調した。

階級闘争とプロレタリア独裁に関する欧米中心の古典理論を修正することによって第3世界の重要性に初めて着目したアジア出身の社会主義者であった。その文明論的な欧米中心主義批判は、徹底したコロンブス嫌いに象徴されている。

『クリストファー・コロンブスこの名はヨーロッパ帝国主義者の心の中で、愛され、いとおしげに語られる。しかし、彼こそまさにヨーロッパの略奪者のために、アメリカへの道筋を「切り開いた」のである。イギリス、フランス、スペイン、イタリア、ドイツなどは「土着」のアメリカの略奪、破壊、荒廃に押しなべて一役買った。「土着」アメリカの犠牲において自分たちの資本主義的な都市とブルジョア帝国主義文化を建設したのである。ティムールやジンギスカンなどのモンゴル諸侯のヨーロッパ侵入も、ヨーロッパ人が「発見」したアメリカでの彼らが蹂躞者としておこなった残虐行為のまえでは色褪せてしまう』(社会革命と東方 1919年)



このアジア社会主義の先駆者は、バンコルトスタンノシバーエバツォ村で、国民学校のロシア語教師を父とし、没落タートル人貴族の娘を母として、生まれた。

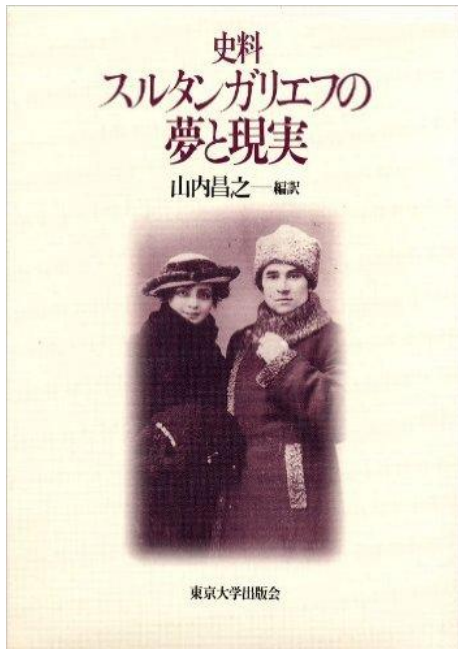
カザンのタートル人師範学校では、文学、自然科学、心理学の成績が良く、1911年に首席で卒業した。在学中からロシア革命思想に大きな影響を受けていたがウファやバクーの図書館員や新聞編集委員の仕事を見つけることができた。

1917年の2月革命を機にペテログラードに移ったが間もなく7月にカザン住居を変えた。

そこでムスリム社会主義者委員会やムスリム共産党の組織化にあたる一方、後のソ連共産党の前身、ロシア社会民主主義労働党ボルシェビキに加盟した。

まもなくスターリンに抜擢されて、中央ムスリム軍事参与会議長、民族問題人民委員部参与会員、「民族生活」紙編集長、赤軍政治総本部東方局長、連邦土地委員会議長など、20以上の常勤の役職を務めた。これはムスリム・コムにストとして最高の栄位に上り詰めたことをいみする。

1918年ファティマ・エルジナと結婚している。タートル人豪商の娘ファティマは屈託のない芸術好きの女性だった。彼女は創作を趣味としており、2人は芸術への共通の関心をつうじてむすばれたのだろう。



さてスルタンガリエフは、その主要論文「ムスリムに対する反宗教宣伝の方法について」(1921年)のなかで、イスラームが丸ごと反動的な宗教だという偏見を退けて、個人と集団を進歩的な社会派原理にも基づいて統合する規範として、イスラームを積極てきに評価した。かれはイスラム法(シャリーフ)の本質には十分にポジティブなものが性格」のものがたくさん含まれている。また、ここ1世紀あまりイスラーム世界の全域が西欧帝国種具によって搾取されて来たので、「宗教イスラームは抑圧され防御にまわった宗教としての資格をもっていたし、いまでも持っている」という。イスラームはそれ自体で反帝国主義の宗教なのだと言いたげである。

さらに抑圧されたプロレタリアートのアナロジーで、抑圧された民族を「プロレタリア民族」と考える独自の視点も打ち出した。これは暗にロシア人を「ブルジョア民族」と批判することにつながる。

ドイツとロシアの活動を基本軸とする、コミンテルンによせる眼差しも厳しかった。スルタンガリエフは、コミンテルンがヨーロッパ中心主義に偏向していると批判して、アジア、アフリカの抑圧された民族からなる「植民地インターナショナル」の結成を呼び掛けたのである。



これでは共産党の教義に疑いをさしはさむことになってしまう。スターリンの党運営の手法を批判して、トロッキーに接近したのは決定的であった。スルタンガリエフは、1923年5月に逮捕されて、間もなく除名されてしまう。

この経緯でスターリンが仕掛けた罠と陰謀のあざとさは見事なくらいであり、後年すべての古参ボルシエビキが肅清されていく原型がすでに表れていた。28年12月には第2回目の逮捕が彼を襲い。31年1月から34年3月まで北海のソロフキ島で服役したらしい。34年に釈放されたが37年には第3回目となる逮捕の悲劇にみまわれる。40年1月にモスクワのルビヤンカ監獄の「ザステーノク」で処刑された。ザステーノクとは拷問所の謂に他ならない。

それから半世、がたってペレストロイカの下で90年6月ようやく名誉が回復された。かれが花々しく活躍したカザン市にはスルタンガリエフ広場がつくられて、そのタートルスタン共和国の市民が散策しながら、その往時を偲んでいる。

スターリンはトロッキーを始め、17年の革命をともに行った同志達を粛清した。スルタンガリエフもまたその1人である。彼の場合コミンテルンのヨーロッパ中心主義に反対であり、優れた独創性の持ち主であったから、中央アジアに独自の社会主義革命を成立させたことだろう。

それは中国、共産党の革命と結びつき多様性を認める社会主義を実現したことだろう。それは人民に支持されてソ連の崩壊はなかつただろう。

スターリンは共産主義運動にとってまことに罪深い存在だ。